

# ～目指せ「減量」、こんな方法で実践してみよう！～

## 4 雑古紙は資源です

雑古紙（小さな包装紙やメモ用紙・封筒など）を燃やせるごみとして捨ててしまっていないですか。

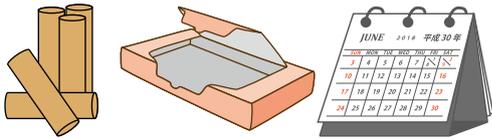
燃やせるごみの中にはリサイクルが可能な雑古紙などが約20%含まれているといわれています。

分別すればリサイクルできるだけでなく、燃やせるごみの減量にもつながります。

### 雑古紙の分別

#### 雑古紙として資源回収(紙類)に出せるもの

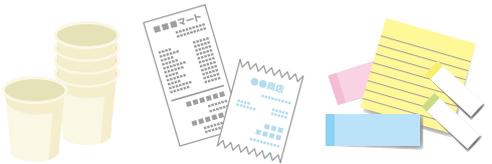
- 食品・ティッシュペーパー・靴などが入っていた紙箱
- トイレットペーパーやラップの芯
- カレンダー・ポスターなど名刺よりサイズが大きな紙類



※分別後はひもで束ねて、資源回収（紙類）の回収日に出してください

#### 雑古紙として出せないもの

- 紙コップ・圧着はがき・カーボン紙・感熱紙（レシートなど）・シール・付箋・アルミやビニールでコーティングされた紙など



## 5 食品ロスを減らそう！

日本で発生している食品ロスは年間約600万トンで、これは世界の食糧援助量の2倍に相当し、国民1人1日当たり茶わん1杯（約130g）を捨てていることになります。

### Q 「食品ロス」とは？

A まだ食べられるのに、ごみとして捨てられてしまう食べ物のことです。



【平山主事】

### 【食品ロスを削減する方法】

- 買い物前に冷蔵庫をチェックし、無駄なものは買わない
- 生ものなどの傷みやすい食材は、早めに使い切る
- 食事は食べ切れる量だけ準備する
- 「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解する

消費期限	「食べても安全な期限」で、期限を超えたものは食べない方が安全です
賞味期限	「美味しく食べられる期限」で、期限を超えてもすぐに食べられなくなるわけではないので、食品に表示された内容に従って判断しましょう

この特集で紹介した方法を参考に、「まずは」できることから、少しずつごみの減量に取り組みましょう！また、市ホームページでも、減量の方法を紹介していますのでご覧ください。



【本間主任】

昨年度からは、余熱利用施設整備に関する検討及びごみ処理施設事業者選定作業を開始し、今年度は、施設進入道路にかかる設計業務を発注するなど、平成35年度中の本稼働を目指して、鋭意、準備を進めています。今後のおおまかなスケジュールについてお知らせします。

項目	平成29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
環境影響評価	●						
事業者選定等	●	●					
用地取得				●	●		
設計・建設工事				●	●		
施設稼働							●



# 家庭ごみ減量チャレンジ33

## 1 削減目標

(1人1日当たりの家庭ごみ排出量)

平成26年度 648 g

-33g

平成38年度 615 g



【金子主事補】

**Q** ごみを減らすとどんなメリットが？

- A**
- 運搬・焼却にかかる経費の削減 (削減目標達成で、年間約2,500万円の経費削減)
  - ごみ収集車の燃料が減り、CO<sub>2</sub>排出を抑制
  - 最終処分場の長期間利用が可能

## 2 減量の目安

- レジ袋を断る (マイバック持参)
- 使い捨て製品の利用を控える (割りばし・プラスチック製フォークなど)
- 詰め替え用商品を選ぶ (シャンプーなど)
- ペットボトル・紙コップの利用を減らす (マイボトル・カップ利用)



レジ袋  
1枚 約4~10 g



割りばし  
1膳 約5~10 g



プラスチック製フォーク  
1本 約5 g



シャンプー容器  
1個 約70~80 g



ペットボトル  
1本 約40 g



紙コップ  
1個 約5 g

## 3 生ごみの水分は80%! 水切りでダイエット!

水切りで約10~30 g減量できます。ごみ袋に入れる前にネット等でよく絞りましょう。下記の方法なら手も汚れません。

- 不要なCDの真ん中に水切りネットを通して絞る
- 市販の水切りグッズを使う (シリコン素材の三角コーナーなど)
- 生ごみ処理機を使う

※購入費の補助があります。詳細は市ホームページをご覧ください

**!** 水に濡らさないことも効果的

野菜は皮が付いたまま洗うと皮に水分が着いてしまい、水分が増える原因になります。野菜は皮をむいてから洗いましょう



CDを使った水切り



野菜は洗う前に皮むき

## 新ごみ処理施設の建設に向けて

問い合わせ／鴻巣行田北本環境資源組合 (☎501-6708)

鴻巣市・行田市・北本市の3市では、ごみ処理の広域化を図るため、平成26年4月、一部事務組合を発足、新たなごみ処理施設整備事業に着手しました。施設建設地は既に3市協議の中で「鴻巣市内」と決定していたことから、平成26年度には、建設候補地の選定について、市民の皆さんの代表等で構成する「検討委員会」の審議等を経て、市内郷地・安養寺地区に決定しました。

組合では、平成27年度に、一般廃棄物に係る中長期的な視点に立つ基本方針、「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」や、新たに整備する施設に関するごみ処理技術等の施設概要、概算事業費などにかかる「広域処理に向けた基礎調査(広域化方針)」を策定、平成28年度には、施設整備に係る「施設整備基本計画」や、熱回収施設等の運営方式における最もふさわしい事業方式を選定するため、PFI等導入可能性調査を実施するとともに、建設予定地の環境影響評価を開始しました。

